



山 陰 道

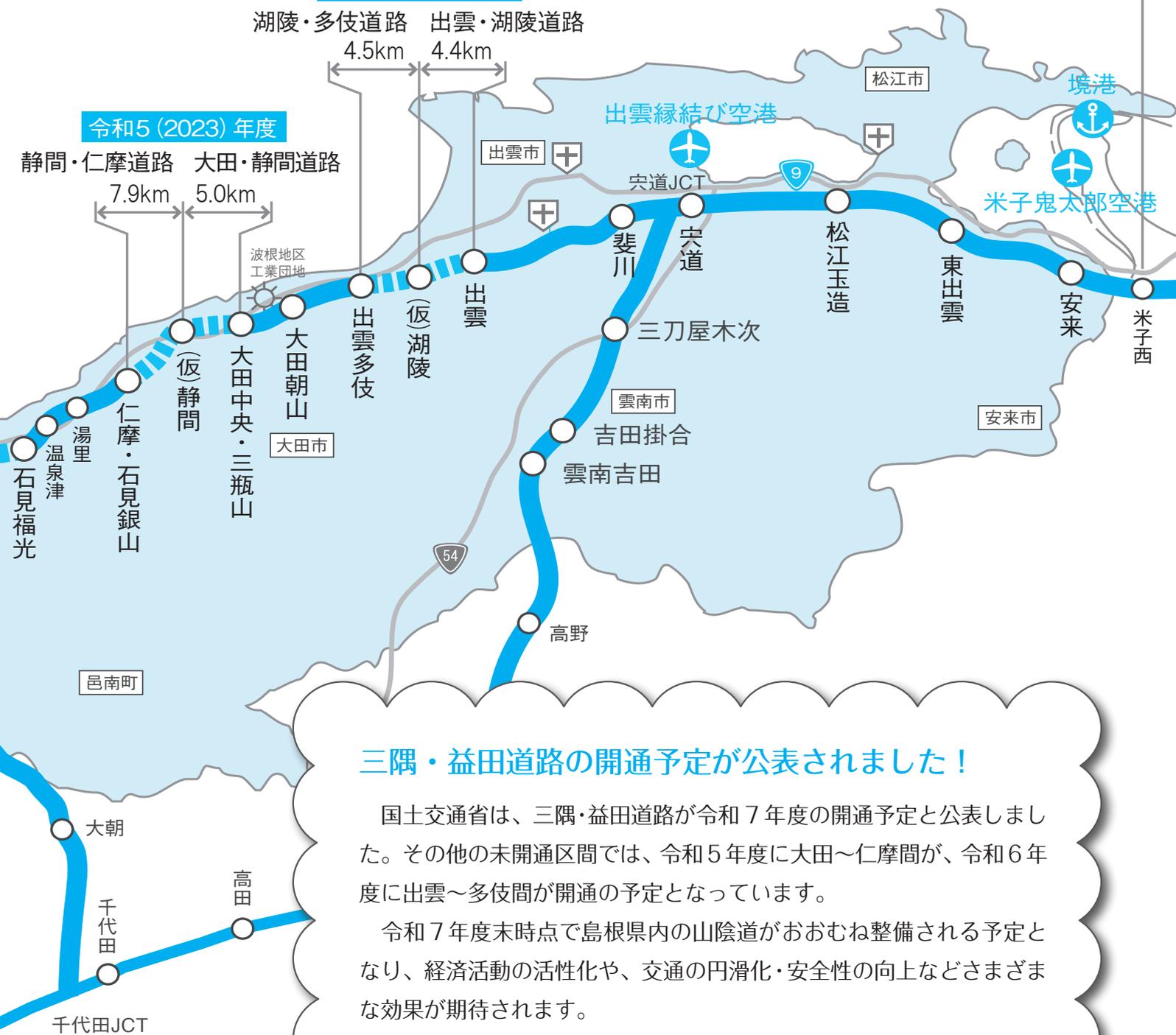
193.6 km

令和6 (2024) 年度 ※

湖陵・多伎道路 4.5km
出雲・湖陵道路 4.4km

令和5 (2023) 年度

静間・仁摩道路 7.9km
大田・静間道路 5.0km



三隅・益田道路の開通予定が公表されました！

国土交通省は、三隅・益田道路が令和7年度の開通予定と公表しました。その他の未開通区間では、令和5年度に大田～仁摩間が、令和6年度に出雲～多伎間が開通の予定となっています。

令和7年度末時点で島根県内の山陰道がおおむね整備される予定となり、経済活動の活性化や、交通の円滑化・安全性の向上などさまざまな効果が期待されます。

※トンネル工事・大規模橋梁工事・大規模法面対策工事等が順調に進捗した場合

令和7年度開通予定！

～三隅・益田道路～

山陰道(県内)の整備状況

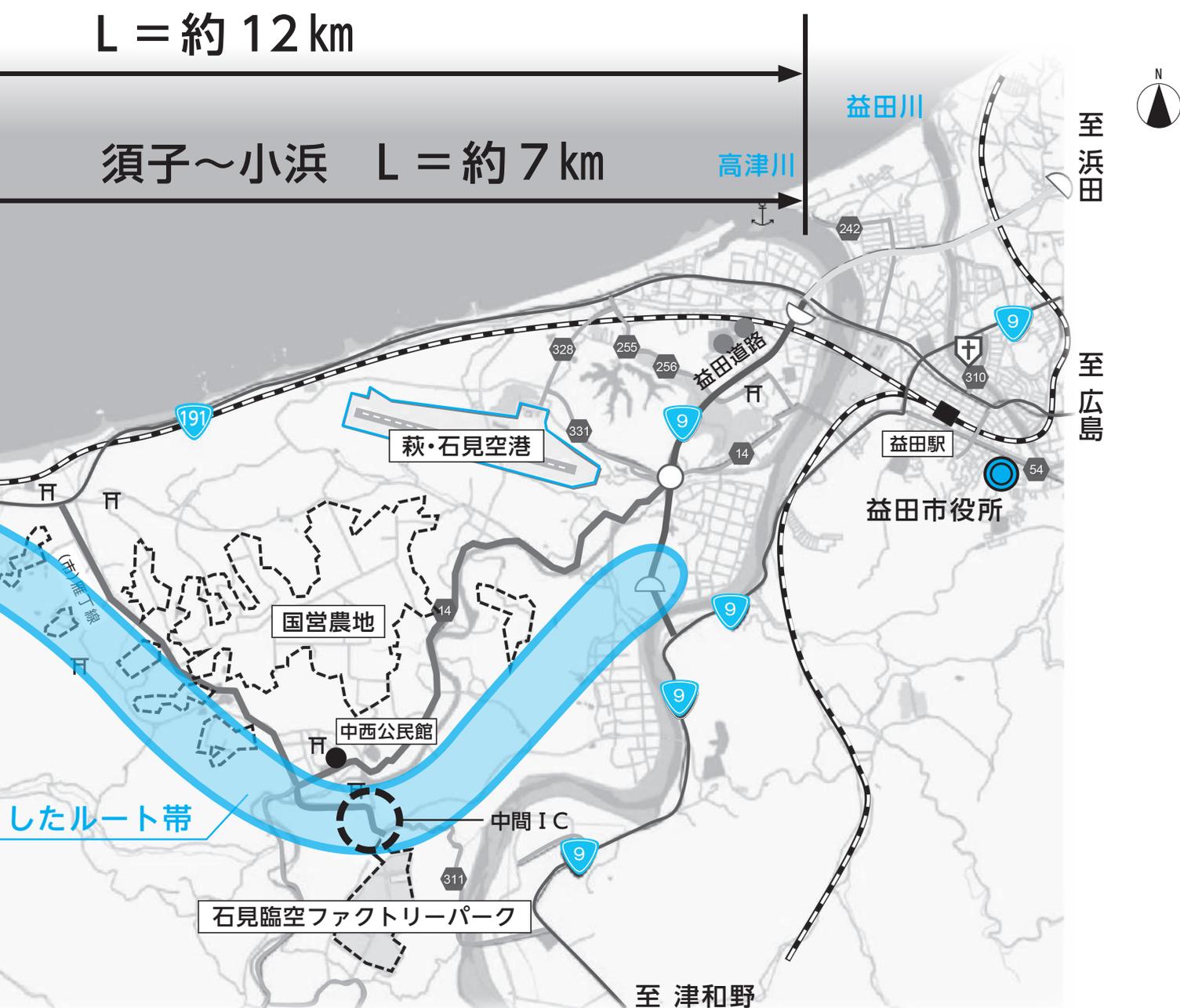
凡例		延長	比率
開通済区間		129.8km	67%
事業中区間		46.3km	24%
未事業化区間 (調査区間)	計画段階評価完了	7.5km	9%
	計画段階評価未完了	10.0km	
合計		193.6km	



昨年12月に、益田市須子から萩市田万川へつながる山陰道（須子～田万川間）のうち須子～小浜間について、石見臨空ファクトリーパークへのアクセス性を優先したルート帯案が優位であると評価されました。また、小浜～田万川間については、複数のルート帯案が示され、今後、アンケート調査が行われることとなりました。

益田から萩までの間の山陰道は、世界遺産を擁し多くの観光客が訪れる萩市と益田市を結ぶ道路であり、萩・石見空港の一層の活性化につながると期待できます。また、九州経済圏へのアクセス性が向上することで、石見臨空ファクトリーパークなど企業立地促進への大きな追い風となります。そのほか、救急搬送の速達性の向上や災害時のネットワーク確保、走行時の安全性の向上など地域の活性化・安全安心に資する多くの効果が見込まれる大変重要な区間です。

市民の皆さまの声が事業推進の大きな力となります。今後、実施される小浜～田万川間のアンケート調査へのご協力をお願いします。



※ルート帯（幅 500 m）に含まれるコントロールポイント（社会的影響等が大きく、避けるべき建築物など）は詳細ルートの検討時に配慮する。

【問い合わせ先】 市都市整備課 国県事業推進室 ☎ 31-0371



益田から萩方面への山陰道

須子～小浜間のルートが決定しました！



- 【小浜～田万川】
- ○ ○ ○ ○ : 【案 A】 現道の線形不良区間の解消および要防災対策箇所の対策を行う案
 - ○ ○ ○ ○ : 【案 B】 構造不良箇所の連続区間をショートバイパスで回避し、その他区間を現道拡幅する案
 - ○ ○ ○ ○ : 【案 C】 小浜～田万川間を別線バイパスで結んだ案